

令和4年度 t-P A治療実績

(令和4年4月～令和5年3月)

※横浜市救急隊が搬送した傷病者に対する治療実績

1 報告件数

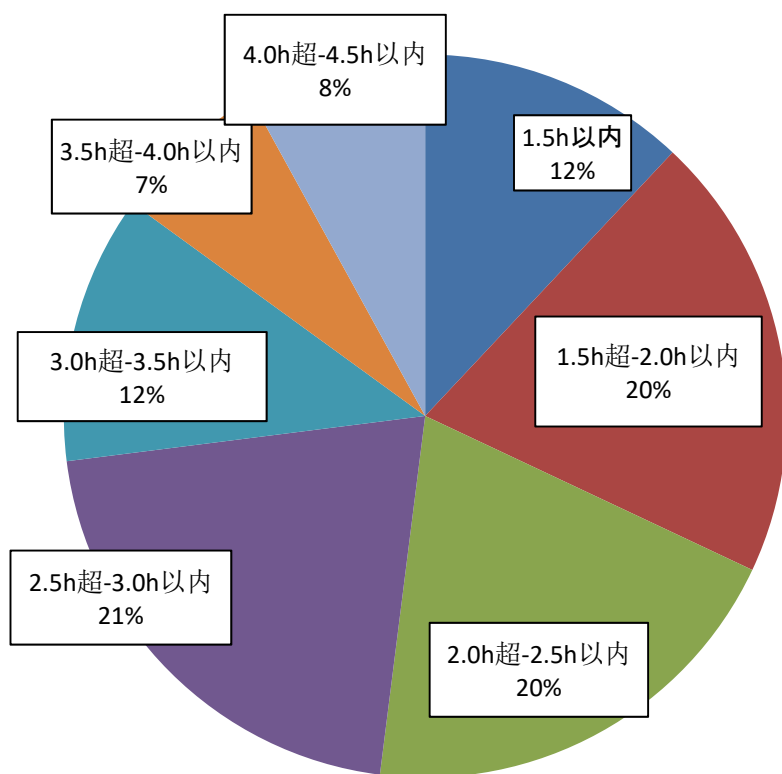
性別	人数 (割合)
男性	208 (53%)
女性	166 (47%)
報告数	390

2 年齢分布

年齢	人数 (割合)
～19	0
20～64	60 (15%)
65～74	70 (18%)
75～	260 (67%)

※年齢幅は35歳～99歳、平均年齢 77歳

3 発症時刻から t-PA療法開始までの時間 (hr)

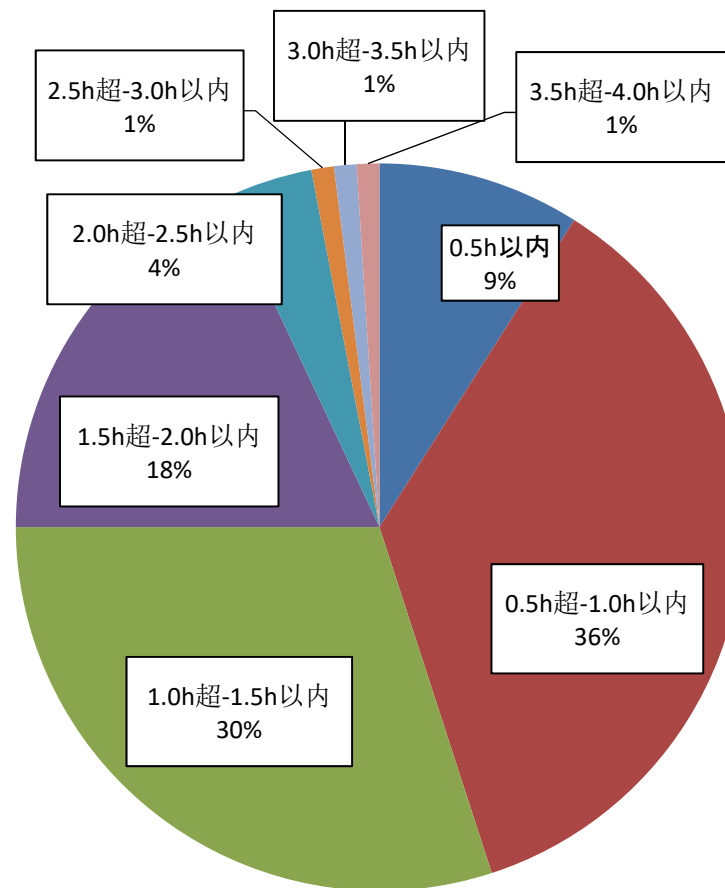


367名

平均時間 : 2時間33分

中央値 : 2時間30分

4 病院到着から t-PA療法開始までの時間 (hr)



383名

平均時間 : 1時間10分

中央値 : 1時間05分

5-1 横浜市の t-P A 治療実績と市販後調査実績との比較

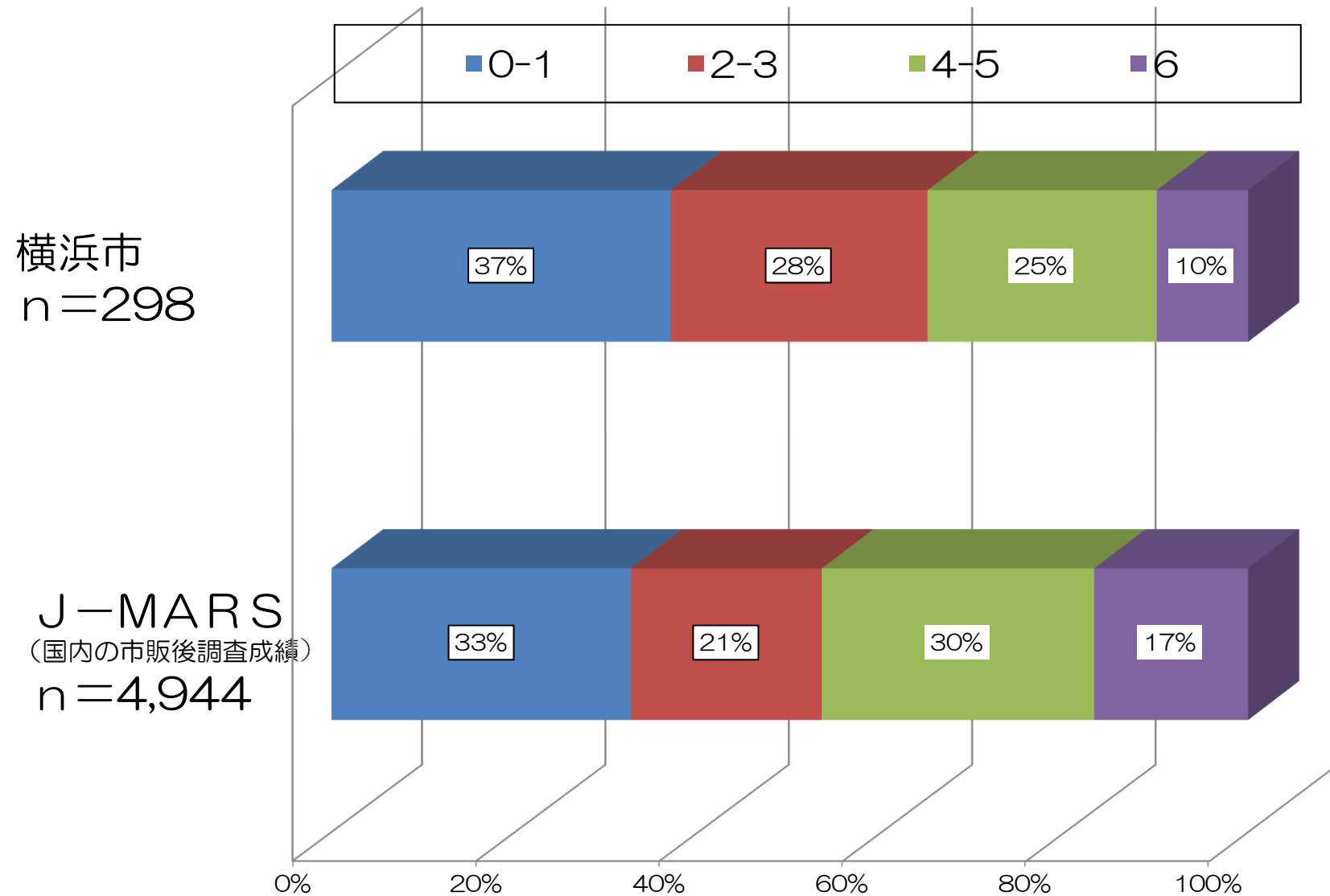
(%)

mRS	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【3か月後mRS】	37	28	25	10
市販調査成績 【3か月後mRS】	33	21	30	17

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと（下記表は日本脳卒中学会の資料を引用）

0	まったく症状なし
1	日常の勤めや活動は行える
2	身の回りのことは介助なしに行える
3	何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える
4	歩行や身体的要求には介助が必要である
5	寝たきり等常に介護と見守りを必要とする
6	死亡

5-2 横浜市のt-P A治療実績と市販後調査実績の比較



6-1 令和4年度横浜市のt-P A治療実績と国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。

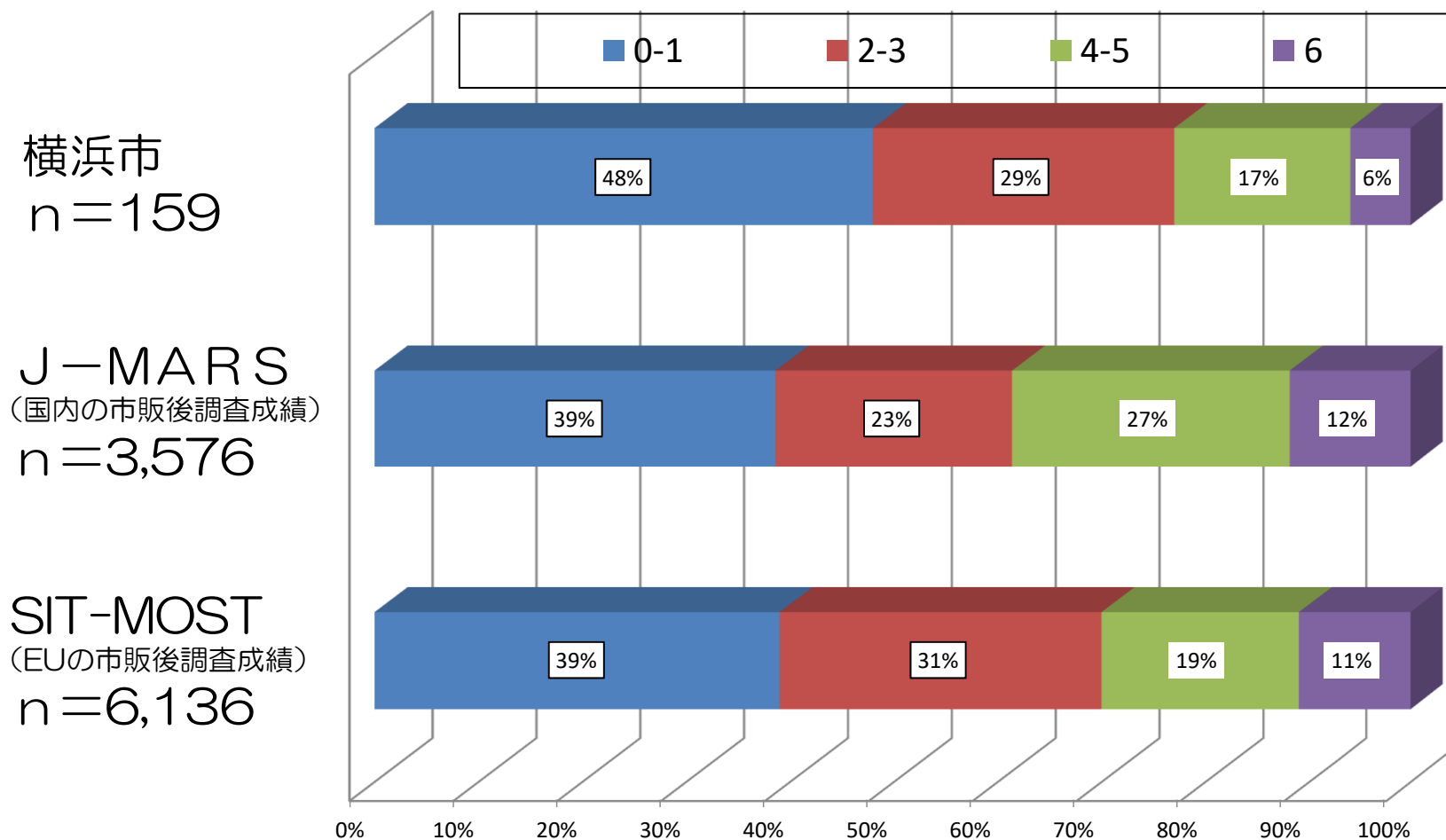
再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

	(%)				
	mRS【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=159 (全症例数の約48%)】		48	29	17	6
J-MARS (国内の市販後調査成績) 【n=3,576 (全症例数の約72%)】		39	23	27	12
SITS-MOST (EUの市販後調査成績) 【n=6,136】		39	31	19	11

※NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-P A治療前に意識水準や麻痺の程度などの15項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点になる。

6-2 令和4年度横浜市のt-P A治療実績と国内外の市販後調査成績との比較



7 その他

J-MARS（調査期間：平成17年10月～平成19年10月）

日本国内で行われた発症3時間以内の脳梗塞に対する
t-P A 静注療法の市販後調査。

SITS-MOST（調査期間：平成14年12月～平成18年4月）

EUで行われた発症3時間以内の脳梗塞に対する
t-P A 静注療法の市販後調査。